

北海道原水協ニュース

原水爆禁止北海道協議会 Eメール hokkaidogensuikyo@pearl.ocn.ne.jp
電話011 (747) 7557 fax011 (747) 7537 発行/2020年 5月 25日

私たちの声と行動で 被爆者とともに 核兵器のない世界を

★ 幹線コース 江別平和行進 ★

岩見沢原水協から引き継いで、江別原水協は5月22日午後から市内国道12号線沿いで、「被爆75年核兵器のない平和で公正な世界を 人類の生存と地球の未来のために連帯しよう」とスタンディングを行いました。平和行進のステッカーを間隔をあけてつないだのですが、なんと参加者は30人（写真下）。終了後、場所をスーパーの駐車場に移動して、江別原水協青空総会。午前中は市役所を表敬訪問、思いがけず副市長が途中から参加し「行進者はいないが、粘り強い活動に歴史の重みを感じます」と激励してくれました。



★ 幹線コース 札幌平和行進 ★

札幌市内の平和行進、幹線コース、北コースと西コースでスピーチとスタンディングを9か所で行い、午後JR札幌駅前南口広場に終結しました。西区日登寺の『原爆の火』を掲げながら、広田凱則・札幌市被爆者の会会長が「自分たちと同じ体験をさせたくない。核兵器をなくそう」と訴えました（写真右の真ん中）。50人以上の参加者は横断幕、プラスターやのぼりなど、ほとんど通る人もいませんでしたが、強い風に負けず必死にアピールしました。足を止めてしっかり被爆者の話をきいている人も見受けられました。江別からは引き継ぎのため高島勝理事長はじめ3人が参加しました。



北区地下鉄麻生駅前（写真下左、14人が参加）ではまだ準備中に横断歩道を渡ってきた男性が「署名ないのかい」と足をとめ、男性が署名していると通りがかりの女性も「署名するよ」と。

（写真下右～西コース地下鉄西11丁目、15人が参加。）

